

令和元年度「子ども司書」認証式を開催！

県内の市や町で行われた「子ども司書」養成講座を受講し、各学校や図書館等で実践を積んだ、県内の小学校・義務教育学校5・6年生の児童が、「子ども司書」としての認証を受けました。

認証式では、「はつかいち市民図書館ブックトークの会 ピッピ」代表の梅地佳代子先生に、ブックトークをしていただきました。

その後、「子ども司書」に認証される児童へのインタビューを行い、これまでの活動や今後の意気込み等について交流しました。また、参加した児童全員でお互いにおすすめ本を紹介しあい、POPを交換しました。

認定証授与では、一人一人に平川理恵教育長が認定証を渡しました。「子ども司書」養成講座は10年目を迎え、これまでに認証された「子ども司書」は、今年で1,881名になりました。

*平成22年度から開催

- 日 時 令和2年2月1日（土）
- 場 所 広島市東区民文化センター
- 参加者 各市町で「子ども司書」養成講座を受講した児童
- 内 容 ブックトーク（梅地佳代子先生）
「子ども司書」インタビュー
おすすめ本の紹介、POP交換会
「子ども司書」認定証授与



梅地佳代子先生のブックトーク

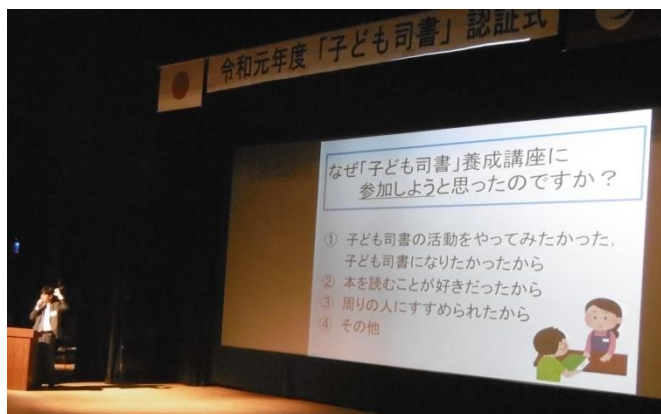
小学生や地域の多くの人たちに読書の楽しさ、素晴らしさを伝えておられる、「はつかいち市民図書館ブックトークの会 ピッピ」代表の梅地佳代子先生が、「あの道 この道 どんな道」というテーマでブックトークをしてくださいました。梅地先生の温かく魅力的な語り方や場の雰囲気づくりで、参加した児童はあっという間に本の世界に引き込まれていきました。最後には、ブックトークをする際のポイントもお話ししてくださいました。会場では、身を乗り出してお話を聞いたり、熱心にメモをとる児童の姿もたくさん見られました。

児童にとって貴重な経験となり、今後の活動へのさらなる意欲につながる素晴らしい機会となりました。



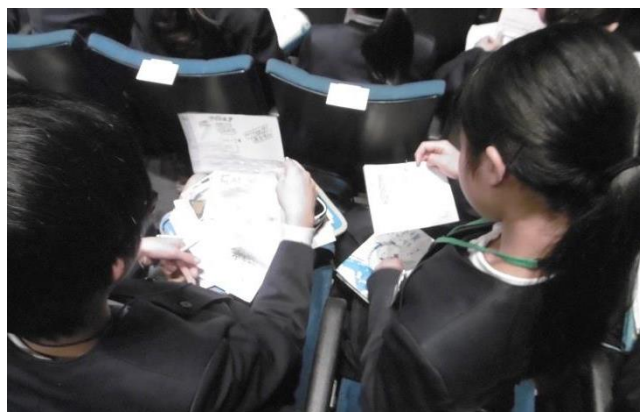
みんなと思いを共有した 『子ども司書』インタビュー」

「子ども司書」になる児童の皆さんの思いやこれまでの活動の様子、今後の意気込み等をぜひ交流したいという思いから、今年度は「子ども司書」インタビューを実施しました。1年間、各市町の図書館等の御指導を受け、大変充実した研修を積み重ねてきたことが分かりました。参加した児童は積極的に自分の経験や思いについて目を輝かせながら発表してくれました。今後の「子ども司書」の活躍がますます楽しみです。



友達の輪が広がった 「おすすめ本の紹介」&「POP交換会」

参加した児童全員でお互いにおすすめ本を紹介しあい、自作のPOPを交換しました。「子ども司書」養成講座や梅地先生から学んだブックトークのポイントを生かしながら、本の内容や好きな場面を紹介し合う様子が見られました。本のキャッチコピーや登場人物のイラストを描き加えるなど、様々な工夫が凝らされたPOPを受け取り、大切に読み返している児童の姿がとても印象的でした。



199名に「子ども司書」認定証を授与

平川理恵教育長が、「子ども司書」に認定される児童一人一人に認定証を手渡しました。児童は、1年間の頑張りが認められ、達成感に満ちた表情で認定証を受け取っていました。

この1年間の学びを生かし、今後も「子ども司書」として、読書の楽しさや大切さを広めていってくれることを期待しています。

